

令和2年度 第5回下野市教育委員会定例会議事録

日 時 令和2年8月20日(木) 午後1時30分～午後4時50分
会 場 下野市役所3階 301・302会議室
出席委員 教 育 長 池澤 勤 職務代理者 永山 伸一
委 員 熊田 裕子 委 員 石嶋 和夫
委 員 佐間田 香
出席職員 教育次長 清水 光則
教育総務課長 近藤 善昭
学校教育課長 田澤 孝一
生涯学習文化課長 篠崎 正代
文化財課長 山口 耕一
スポーツ振興課長 若林 毅
教育総務課長補佐 神田 晃
教育総務課主事 岡野 祐衣
公開・非公開の別 公開(一部非公開)
傍聴者 0 人
報道機関 0 人
議事録(概要)作成年月日 令和2年9月24日

議 題

議案第26号 令和2年度下野市児童表彰に関する被表彰候補児童の内申について

協議事項

- (1) 今年度の学校訪問について
- (2) GIGA スクール構想実現に向けた計画について
- (3) 公共プールのあり方について
- (4) 下野市体育施設等長寿命化計画(案)について

報告事項

- (1) 令和2年度下野市教育委員会点検・評価報告書について
- (2) 下野市児童表彰条例の一部改正(案)について
- (3) 下野市立南河内小中学校起工式について
- (4) 一般財団法人グリムの里いしばしの令和元年度経営状況報告書について
- (5) 令和元年度下野市公民館評価報告書について
- (6) 令和3年度公民館予約システムの変更について
- (7) 令和元年度下野市立図書館評価報告書について
- (8) 旧山中家住宅(民俗資料館夜明け前)の国登録有形文化財の登録について
- (9) 下野市文化財保存活用地域計画の認定について

1. 開会

(池澤教育長)

2. 教育長挨拶及び報告

7月17日から本日までの職務について報告させていただく。

- ・7月20日から22日、文化財課が中心となり、地域再生マネージャー事業を実施した。この事業は、外部専門家をお呼びして、市内の文化財を診断していただき、今後どのようにしたら東の飛鳥プロジェクトがさらに輝くかを検討するものである。
- ・7月22日、8月4日、19日、新型コロナウイルス感染症対策推進本部定例報告会が行われた。
- ・7月27日、石橋複合施設プロポーザルが開催された。
- ・7月28日、第13回臨時校長会が行われた。夏休みに向けた各校の取組について、確認させていただいた。
- ・7月30日、新聞の日に向け、教職員向けの研修を行った。
- ・同日、第1回スポーツ審議会が開催され、各種スポーツイベントの中止が決定された。中止の代替として、「オクトーバー・ラン&ウォーク」という、アプリケーションを使用してランニングとウォーキングを行う新しい企画が行われる。

8月17日から夏休みが明けて3日経つが、暑い中、子どもたちも先生方も頑張っていることを報告させていただく。

以上の報告内容について、質疑はあるか。(特になし)

(池澤教育長)

3. 議事録署名人の選任 熊田委員及び石嶋委員を指名

4. 前回議事録の承認

(池澤教育長)

前回議事録について、事務局より説明をお願いする。

(神田課長補佐)

第4回教育委員会定例会の議事録について、修正箇所の説明を行う。

(池澤教育長)

議事録はこのとおり承認とする。

5. 議題

(池澤教育長)

議案第26号については、個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。

(全委員異議なし)

(池澤教育長)

それでは、議案第26号については非公開で行うことと決定する。

では、議案第26号 令和2年度下野市児童表彰に関する被表彰候補児童の内申について、説明を求める。

以下、非公開

(池澤教育長)

議案第26号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第26号は原案どおり決定する。

6. 協議事項

(池澤教育長) (1) 今年度の学校訪問について、説明を求める。

(近藤教育総務課長) 「学校訪問日程(当初)」に基づき、給食会食、教職員との懇談会、幼稚園への訪問について、今年度も通常どおり実施するかどうかについて、教育委員の皆様のご意見を伺う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。

(熊田委員) 数か月前から、給食については不安を持っていた。学校も不安であると思う。保護者の授業参観も実施できていない状況の中で、長い時間お邪魔するのは、学校の負担になると考えられる。給食については、一緒に食べるのではなく、学校概要説明の際に写真等で見せていただければと思う。教職員との懇談会については、メインの1つであると思うが、管理職を経由せずに、学年ごとに文書で意見を出していただくという方法も考えてみた。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(永山委員) このような状況が永久に続くわけではないので、給食等は当面の間、遠慮した方がよいと思う。教職員との懇談会については、先生方の本音を聞くことができたり、学校の現状を肌で感じることもできたりするので、素晴らしい機会であるが、物理的な問題があるので、当面見合わせてもよいのではないか。文書で提出ということになると、それはそれで先生方の負担が増えてしまうのではないだろうか。

保護者の方の授業参観の実施状況はどのようになっているのか。

(田澤学校教育課長) 小規模校については、授業参観を実施したという学校も数校あるが、大規模校は実施できていない状況なので、学校による違いはある。9月以降、実施する予定の学校もある。

(永山委員) 保護者の方もなかなか学校に入れないうちで、教育委員会が現場に負担をかけるのはどうなのか、というところがある。

(熊田委員) このプリントをいただく前に、学校訪問そのものを中止するという話も出ると思っていたが、今年度も実施するという方向で考えているのか。

(近藤教育総務課長) 今のところ、今年度も実施する予定であるが、内容については、簡素化した形で行う方向で考えている。

(熊田委員) 非常に危険な状況というわけではないが、感染者は増加しており、収束はしていないという事実がある。我々がお邪魔することで、先生方のストレスや負担が増えてしまうのではないかという気持ちがあるため、質問させていただいた。

(永山委員) 学校訪問自体を当面見合わせるということも、一つの選択肢である。それも含めて、協議を行ったほうがよいと思う。

(佐間田委員) 学校訪問は初めてなので、どのような状況なのか分からないが、今年度は実施しない方向でもよいと思う。

(石嶋委員) 6月から地元の小学校で見回り隊への参加を始めたので、朝、横断歩道に立っているが、登校している子どもたちは、下を向いてつまらなそうに歩いている。コロナの影響で学校生活に楽しみがない状況になっていることが心配なので、せめて廊下から授業風景や子どもたちの活動の様子を見たいと考えている。

- (佐間田委員) 学校訪問の一番の目的は何か。
- (池澤教育長) 子どもたちや先生方の活動の様子を見ること、先生方が日頃抱えている悩みなどを、懇談会等を通して把握することが目的である。
給食についても、子どもたちがどのようなものを食べているのか把握することも目的の一つである。
- (佐間田委員) 中止にすることも選択肢の一つであるが、現状を見ることも必要であると思うので、悩むところである。
- (池澤教育長) お手元に配布されている、文部科学省の「学校の新しい生活様式（2020.8.6 ver.3）」のマニュアルと、栃木県教育委員会の「学校における対策マニュアル（第五次改訂版）」をご覧いただきたい。文部科学省のマニュアルの24ページをご覧いただくと、「トイレや洗面所は、家庭用洗剤を用いて通常の清掃活動の範囲で清掃し、特別な消毒作業は必要ありません」とある。これは、子どもたちは学校に入ったら、手洗い、うがい、マスクの着用、ハンカチの持参、マスクを入れる袋を準備するという部分に変わった。
栃木県教育委員会のマニュアルの5ページには、「学校内の清掃・消毒」とある。またマスクについては、十分な距離が取れないときは着用をするように、とあり、方針が変わっている。
従って、今までは、生徒が帰った後は必ず消毒することになっていたが、第五次改訂では国の方から変わってきている。それを受けて下野市は、運動会と修学旅行を全校行う。
学校訪問を実施しないという選択肢もあるが、その学校を訪問できるのは4年に1回のチャンスであり、教育委員の皆様に来ていただくと、先生方の励みになり、子どもたちも嬉しいと思う。
幼稚園訪問についてはいかがか。
- (石嶋委員) 幼稚園訪問は、施設の構造上、廊下から見るというわけにはいかないと思うので、遠慮した方がよいと思う。
- (池澤教育長) 幼稚園の訪問は延期ということによろしいか。（全委員承認）
それでは、学校訪問を実施するかしないか、挙手制で決定したい。内容を精査して実施するというお考えの方は挙手いただきたい。（全委員挙手）
では、学校訪問は内容を精査して実施する。
学校訪問の給食についてはいかがか。
- (石嶋委員) 見学をして、子どもたちが食べている表情や雰囲気を知ることができればよいと思う。
- (熊田委員) きょろきょろしてしまい、前を向いて食べられない子もいるので、見学はしないほうがよいと思う。写真や動画を使って、給食の時間の様子について説明をしていただいただけでよいと思う。
- (池澤教育長) 給食の時間は学校に伺わず、学校概要説明の中で、給食の様子について、写真や動画を使って説明していただくということによろしいか。（全委員承認）
- (永山委員) 時間については後で教えていただけるか。
- (近藤教育総務課長) 昼食は各自でとっていただいて、開始時間を遅らせることになる。
- (池澤教育長) 午後の時間帯に伺う中で、必ず実施する内容についてご意見をいただき

たい。

(永山委員) 授業参観については、マスクを着用して、いつもどおり後ろから見させていただくので、教室に入っても問題はないと思う。

(池澤教育長) では、授業参観は実施し、他に集会や清掃など、各学校で見てほしい時間を必ず一つを入れるようお願いするという事でよろしいか。(全委員承認)

教職員との懇談会についてはいかがか。

(永山委員) マイクを使えばよいのではないか。

(石嶋委員) 少人数グループで、間隔を広めに取って実施すれば大丈夫だと思う。

(熊田委員) せっかく行くのであれば、先生方のお話も聞きたい。

(池澤教育長) では、教職員との懇談会も実施する方向で、調整をお願いするという事でよろしいか。(全委員承認)

続いて、(2) GIGA スクール構想実現に向けた計画について、説明を求めらる。

(近藤教育総務課長) 現在、児童生徒一人一台の端末の整備に向けて、ネットワーク等の環境整備を実施しているところである。今後、国からの補助金を受けるために交付申請を行う際、この計画の策定が義務付けられている。

以降、「学校情報機器における GIGA スクール構想実現に向けた計画」に基づき、ネットワーク環境の整備計画や端末の配備計画について説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。

(石嶋委員) 6 ページの「学習者用コンピュータ配備計画」によると、予備機を 215 台用意していただけるということであるが、教育委員会で一括管理するのか、それとも、何かあった時すぐに使用できるように、各学校に分けて配置しておくのか、どちらの発想になるのか。

(近藤教育総務課長) 各クラスに予備を1台程度ということで、215台を予定している。各クラス分はあらかじめ各学校に配備し、その他数台は教育委員会で保管する。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(熊田委員) 期間があと半年程であるが、整備は間に合うのか。

(近藤教育総務課長) 端末については、仕様を決める段階で、事前に業者とやり取りをしており、配備の時期等について確認しながら進めている。業者からは、ある程度仕様が固まれば、年度内に納入できるという答えをいただいている。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(永山委員) イメージとして、どのような使い方をするのか。計画には、臨時休校や分散登校期間中のオンラインによる学習支援等について書かれているが、全体の教育活動の中でどの程度の割合を占めるのか。

(田澤学校教育課長) 教科書に QR コードがついているが、それを子どもたち一人一人が自分の端末で見るという使い方が基本である。今回 iPad の配備を予定しているので、通常のオフィスソフトを使用する場合はパソコン室を利用し、それ以外の調べ学習等は自分の端末で行うことが可能である。家に持ち帰るときは、ルールを作って使うことを想定している。

(永山委員) 補習に使う予定はないのか。

(田澤学校教育課長) 計画書の2ページにある「ドリルソフト (e-ライブラリ)」は、補充として使用することができる。さらに、中学生が小学生のコンテンツを使って学習することも可能であり、補習として使っていただけるので、それを想定して、ソフトと一緒に購入することを考えている。

(永山委員) 不登校の子が、実際に教室の授業を見ることができるようにする、というような使い方は考えているか。

(田澤学校教育課長) 可能ではあるが、教室で授業を撮影する設備が必要であること、また見る側も、家に Wi-Fi 環境があれば問題ないが、市で貸出しを想定している Wi-Fi ルーターの容量が決まっている。必要なコンテンツを同じように見てもらうことはできると思うが、全ての時間をオンラインで配信するということは難しい面もある。

なお、サポートセンターのスマイル教室に通う子どもたちにも同じものを貸出して、サポートセンター内で使用することは可能なので、学校にいるのと近い形をとることはできる。

(永山委員) まだ実際に配備はされていないが、これからスタートした段階で、先生方には様々なアイデアが湧くと思うので、十分に活用していただきたい。

以前 e-ラーニングを取り入れた際に申し上げたが、ソフトを入れ、それを子どもたちがゲーム感覚で実施して、これで e-ラーニングが進んだ、というように、短絡的な授業にさせていただきたくないと考えている。せっかく使うのであれば、先生方にもアイデアを出していただいて、業者ではなく、現場の先生が主導で、可能性を探りながら進めていただければ嬉しい。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(佐間田委員) タブレットを導入するにあたって、先生方対象の使い方の研修はあるのか。

(田澤学校教育課長) 現在も、同じ iPad ではないが、国分寺地区と南河内地区にタブレット端末を導入しているので、タブレットの使い方の研修を実施してきている。新たに入るコンテンツの使い方の研修については、順次行う。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(熊田委員) 4ページの「通信ネットワーク環境整備計画」において、「薬師寺小学校・吉田東小学校・吉田西小学校は2022年度に義務教育学校への再編が予定されているので、2020年度に整備は行わない。」とあり、それは当然であると思ったが、1年間整備ができない分、その3校では差が出るのか、もしくは代替案が考えられているのか、お聞きしたい。

(田澤学校教育課長) 今回の環境整備は、通信ネットワークの増強であり、現状としては、全クラス Wi-Fi 環境は整っている。多少繋がりにくさがることは想定しているが、使用時間が被らないようにするなど、1年間工夫して対応いただく。どうしても難しい場合や、速度を上げたい授業がある場合には、家庭用に貸出す Wi-Fi での対応も考えている。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(石嶋委員) 一度に全校に配備されるのか。

(近藤教育総務課長) そのとおりである。当初は、来年度から3年計画で予定していたが、国

の新型コロナウイルス対策の進展もあり、国からの補助金が今年度限りとなるので、今年度中に全ての学校で整備される。

(永山委員) 大変大規模な事業になるが、業者の選定はどのように行っているのか。
(近藤教育総務課長) こちらで仕様書を示して、入札によって業者選定を行っていく。
(池澤教育長) 資料の8ページをご覧いただきたい。「本計画は、教育委員会会議に諮った上で、ホームページに公表する。」とあるが、このことに関してご了承いただけるか。(全委員承認)

(池澤教育長) 続いて、(3) 公共プールのあり方について、及び(4) 下野市体育施設等長寿命化計画(案)について、続けて説明を求める。

(若林スポーツ振興課長) 「公共プールの在り方検討報告書」に基づき、施設の現状や今後のプールの在り方を検討した内容について、詳細な説明を行う。

続けて、「下野市体育施設等長寿命化計画(概要版)」に基づき、計画の背景や目的、体育施設の実態、長寿命化の実実施計画等について説明を行う。

(池澤教育長) お手元に「下野市学校施設等長寿命化計画」を配布したが、こちらも大規模改修が行われる際に、計画書がないと国の補助金が付かないということで作成された。体育施設も同様で、この「下野市体育施設等長寿命化計画」に則って長寿命化計画が実施されることとなる。

質疑等はあるか。

(佐間田委員) 「下野市体育施設等長寿命化計画(概要版)」の建物情報一覧表で、南河内武道館の耐震安全性の基準が「旧」という表示になっているにもかかわらず、診断が済んでいないのは大丈夫なのか。

また、「下野市学校施設等長寿命化計画」16ページ、学校施設の健全性の評価結果一覧において、中性化深さの基準が3cmのところ、国分寺小学校教室棟①-3の中性化深さは2.7cmと、高い数値になっている。調査年度が平成21年度で9年程前なので、大丈夫なのか教えていただきたい。

(若林スポーツ振興課長) 南河内武道館は、1階建ての平屋で、構造が一般的な鉄筋コンクリートではないため、耐震診断は行っていない。耐震補強もしていないが、地震等でも問題はないと考えている。しかし、かなり古い建物で、構造躯体以外の劣化状況評価が40点である。南河内武道館と国分寺武道館については、今回長寿命化で挙げさせていただいているが、今後、あり方の検討をさせていただき、統廃合も考えていきたい。

(近藤教育総務課長) 国分寺小学校の中性化深さについてであるが、11ページをご覧いただきたい。「中性化とは・・・コンクリートが空気中の二酸化炭素の作用を受けてアルカリ状態を失っていき、酸性へ傾く現象。」とあるが、この中性化の深さが3cmを超えると鉄筋が腐食しやすい状態であるということである。国分寺小学校の場合、調査年度から9年の月日は経っているが、3cmまでいっていないので、長寿命化が可能であるという判断である。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

公共プールのあり方検討の報告と、長寿命化計画がこのような形で作られることをご了承いただけるか。(全委員承認)

7. 報告事項

(池澤教育長) (1) 令和2年度下野市教育委員会点検・評価報告書について、説明を求めらる。

(近藤教育総務課長) 「下野市教育委員会点検・評価報告書(令和元年度事業)」に基づき、報告書の内容について説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(2) 下野市児童表彰条例の一部改正(案)について、説明を求めらる。

(近藤教育総務課長) 9月議会に条例改正を提案する予定である。3月議会の中で、教育福祉常任委員会の委員長報告において、「児童表彰条例について、市立小学校に限定しているため、県立国分寺特別支援学校に通っている児童は対象となっていない。障がいを持つため市立小学校に通うことができないが、本市在住の大切な児童である。この子どもたちが自信と誇りを持ち、今後の成長の手助けとなるよう、市と国分寺特別支援学校との連携を図り、障がいを持つ児童への支援強化と児童表彰の拡充の検討をお願いする。」との報告があった。これを受けて検討を行い、国分寺特別支援学校と協議を行った結果、国分寺特別支援学校からできればお願いしたいということであったため、今回条例改正に至った。

以降「下野市児童表彰条例新旧対照表」に基づき、条例を改正する箇所について説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。

(永山委員) 議会のほうから要望があったということであったが、教育委員への報告はあったか。

(近藤教育総務課長) 教育委員会の中では報告を行っていなかった。本議会で、常任委員会の委員長の報告が行われた際に、付帯意見としてこのような意見が出されたので、3月議会の報告の中にはなかった。

(永山委員) 教育委員が知らなかったということがないように、ご報告いただきたい。

(池澤教育長) 3年程前に高橋議員の一般質問にも出てきており、今後検討していくと答弁している。

(永山委員) この話は、人権推進審議会の中でも、公募委員の方から同じような意見が出ていた。

(池澤教育長) 今回、常任委員会の意見についてご報告がなかったことについては、謝罪させていただく。

(石嶋委員) 枠を広げていくということは、素晴らしいと思う。

(池澤教育長) 続いて、(3) 下野市立南河内小中学校起工式について、説明を求めらる。

(近藤教育総務課長) 教育委員の皆様にも案内状を送付し、出欠のご報告をいただいている。永山委員には、教育委員代表として玉串奉奠をお願いしたい。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(4) 一般財団法人グリムの里いしばしの令和元年度経営状況報告書について、説明を求めらる。

(篠崎生涯学習文化課長) 「令和元年度経営状況報告書」に基づき、一般財団法人グリムの里いしばしの事業報告及び決算資料について、詳細な説明を行う。

- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (永山委員) 収支明細書の諸収入の中に売店収入とあるが、決算額が予算額の倍になっていることについてご説明いただきたい。
- (篠崎生涯学習文化課長) これは、売店の売上げが伸びているということである。
- (永山委員) では、諸収入の広告料はどここの広告なのか。
- (篠崎生涯学習文化課長) 詳細について現時点ではお答えできないため、後日、教育委員会で報告させていただきます。
- (池澤教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
- 続いて、(5) 令和元年度下野市公民館評価報告書について、説明を求める。
- (篠崎生涯学習文化課長) 「令和元年度公民館評価」に基づき、市内各公民館の令和元年度事業について、点検・評価を行った内容と、公民館運営審議会において外部評価を行った内容について説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (熊田委員) 11ページの外部評価の「地域文化創生拠点としての公民館」の項目において、国分寺公民館と南河内公民館はA評価、石橋公民館と南河内東公民館はB評価というように、評価が分かれています。各項目の意見を読むと、石橋公民館も南河内東公民館も地域に密着している印象であったが、A評価とB評価に分かれた違いがあれば教えていただきたい。
- (篠崎生涯学習文化課長) 4つの中項目に分かれていますの中で、3つ以上Aがあると大項目がAになる。分かれたポイントが、「施設の適正な維持管理と運営」という部分である。国分寺公民館と南河内公民館は、改修されたため、評価が上がっている。
- (永山委員) 資料の見方について確認であるが、4ページまでは各公民館から出された点検・評価シートで、これは自己評価ということによろしいか。
- (篠崎生涯学習文化課長) そのとおりである。
- (永山委員) 5ページから9ページの文章で、評価されている部分は外部評価、10ページと11ページのABC評価も外部評価ということによろしいか。
- (篠崎生涯学習文化課長) そのとおりである。
- (永山委員) では、5ページに「外部評価」と書いたほうが分かりやすいと思う。
- (篠崎生涯学習文化課長) そのようにさせていただきます。
- (池澤教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
- 続いて、(6) 令和3年度公民館予約システムの変更について、説明を求める。
- (篠崎生涯学習文化課長) 令和3年2月1日(金)から、市内公民館の施設予約の受付開始日を、自主サークルと利用料減免団体は前々月の1日から、一般サークルは前々月の16日からという2段階に分けることについて、説明を行う。
- (池澤教育長) 質疑等はあるか。
- (永山委員) 「下野市公民館自主サークル活動登録規程」の第2条(条件)に、「概ね5名以上の会員で構成されていること。」とあるが、「概ね」でよろしいのか。
- (篠崎生涯学習文化課長) サークルなので、本来であれば10名程度を目標にさせていただきたいが、最初は難しいところもあると思うので、概ね5名以上集まっていれば

サークルの登録を認めている。

(永山委員) 4名はどうなのか。

(池澤教育長) 登録時に5名であったが4名になってしまっても、概ね5名と捉える。他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(7)令和元年度下野市立図書館評価報告書について、説明を求める。

(篠崎生涯学習文化課長) 「図書館評価報告書」に基づき、総合評価(外部評価)や図書館協議会委員による意見等について説明を行う。

(熊田委員) 5ページ(1)石橋図書館の〈課題〉において、「インターネット使用に対する情報リテラシーについても支援を考えてほしい。」とあるが、何かトラブルがあって挙げられたのか。

(篠崎生涯学習文化課長) トラブルではなかったが、積極的に情報の活用を支援してほしいということで意見が挙げられた。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。

(永山委員) 構成がとても分かりやすい報告書であると思う。公民館の評価も同じようにまとめていただくと分かりやすいと思うので、次回から参考にしていただきたい。

(篠崎生涯学習文化課長) 次回からの課題とさせていただく。

(池澤教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(8)旧山中家住宅(民俗資料館夜明け前)の国登録有形文化財の登録について、及び(9)下野市文化財保存活用地域計画の認定について、続けて説明を求める。

(山口文化財課長) 資料「報道発表 文化審議会の答申(登録有形文化財(建造物)の登録)について」に基づき、旧山中家住宅主屋(民俗資料館夜明け前)が登録有形文化財として指定されたことについて、説明を行う。

続いて、資料「報道発表 文化財保存地域計画の認定について」に基づき、下野市が文化財保存地域計画の認定を受けたことについて、説明を行う。

(池澤教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

報告事項が終了したが、その他に連絡事項等はあるか。

(若林スポーツ振興課長) アプリを用いて、歩いた距離や走った距離を競うスポーツイベント「オクトーバー・ラン&ウォーク」について説明を行い、下野市は、自治体で競い合う「スポーツタウン対抗戦」に参加することについて説明を行う。

(池澤教育長) その他、連絡事項等はあるか。

(近藤教育総務課長) 8月8日の下野新聞でも報道があった、石橋中学校の床フローリングの浮きの状況について、「石橋中学校大規模改修工事完了後における床フローリング不良に関する経過」の資料に基づき、説明を行う。

(池澤教育長) その他、連絡事項等はあるか。

(田澤学校教育課長) 前回の教育委員会で修学旅行の報告をした際に、交通手段についてご質問いただいたので、各学校からの報告をまとめた一覧を配布させていただいた。

また方面について、前回、南河内中学校は奈良・京都方面と報告させていただいたが、感染者数の増加等も含め、学校側で再検討した結果、福島

方面に変更し、更に2泊の予定を1泊に変更するとの報告があった。
(池澤教育長) その他、連絡事項等はあるか。(特になし)

次回の教育委員会は、9月24日(木)午後1時30分からの予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時50分閉会。